

|           |          |  |        |                                |       |
|-----------|----------|--|--------|--------------------------------|-------|
| 10 幼小連携部会 |          | 部会テーマ  |        | 幼小接続期の質の高い教育とは<br>～互いの教育を見通して～ |       |
| 内 容       |          | 幼児教育において育みたい資質・能力が明確化され、幼児教育と小学校教育との円滑な接続が求められている。そこで、幼稚園等と小学校における質の高い教育の実践発表を通して、円滑な接続を実現するための保育・教育の充実について考える機会とする。 |        |                                |       |
| 指導助言者     | 幼児教育センター | 神長美津子  | 企画・会場係 | 総合教育センター                       | 富川 千明 |
| 記録係       | 総合教育センター | 天川 有紀  | 機器係    | 総合教育センター                       | 斎藤雄一郎 |
| 機器係       | 総合教育センター | 高根沢伸友  | 受付係    | 総合教育センター                       | 永岡 裕子 |

実践発表①

幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けて

～小学校に学びをつなぐ～

高根沢町立西小学校 荒井美貴子

幼児教育と小学校教育の違いと共通性を知り、幼児教育での学びを小学校へとつなげていく在り方を探ってきた。本発表では、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえつつ、小学校入学期の児童が円滑に学びに向かうためにはどうしたらよいか、実践の一端を紹介する。

実践発表②

発見や体験を通した学び

～好奇心や探究心をもって考え、言葉などで表現する姿から～

認定こども園愛泉幼稚園 石島あさみ

子どもたちの「おもしろそう!」「やってみたい!」の声に耳を傾け、興味・関心に寄り添いながら保育をすることで、子どもたちの意欲や好奇心、探究心が育まれていく。本発表では、年長クラスの活動エピソードから、発見や体験を通した学びについて紹介する。

実践発表③

質の高い幼児教育を目指して

～保育の振り返り・接続課題の発見～

社会福祉法人つくし会つくし保育園 横松 一輝

子どもたちの日常の様子を屋内場面と屋外場面のそれぞれで観察し、求められている幼児教育の柱である「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」との関係性を考察する。そこから接続期の課題を再発見し「幼児期からの学びの基盤づくり」の具体的な方法を再考する。

指導助言

幼児教育センター 神長美津子